

理事長 本田 景士（株式会社 KCR 代表取締役） 1982 年生まれ 和歌山県串本町で生まれ育つ
◆株式会社 KCR 和歌山にトルコの経済マーケットを創出する事を目的に 2013 年創業。
事業内容：飲食事業（トルコ風カフェレストラン「紬カフェ」、Book&TurkishBazaar「タイヨウのカフェ」）、トルコ商品の卸小売業、土産物開発・販売業、トルコとの商品輸出入、トルコ進出・輸出入支援、など。

沿革・事業紹介

- 2013 年 7 月 株式会社 K C R 設立
- 2016 年 9 月 和歌山トルコ文化協会設立
- 2018 年 1 月 本田景士が和歌山トルコ文化協会理事長就任
- 2018 年 1 月 白浜町「トルコ雑貨とハンバーグ 紬カフェ」に本部設立
- 2018 年 3 月 エルトゥールル号の絵本「タイヨウのくにとツキのふね」制作出版
- 2018 年 4 月 絵本を寄贈すべくクラウドファンディングを実施（154 万円 168 人）
- 2018 年 7 月 移動絵本展を県内書店で開催、多数の県内メディアからの応援を受ける
- 2018 年 11 月 絵本をトルコのチョルル市長、ロータリークラブ、商工会、児童施設、学校等に寄贈
- 2019 年 1 月 絵本を和歌山県内ほぼ全ての小学校・幼稚園、全国の 107 図書館に寄贈
- 2019 年 3 月 串本町「タイヨウのカフェ」に本部を移す
- 2019 年 5 月 毎月第二日曜の 15 時から絵本の読み聞かせやキッズイベントを開始
- 2019 年 10 月 トルコ/イズミルの日本友好協会「JIKAD」が火災、募金→義援金約 10 万円を送金
- 2019 年 12 月 無料参加の子どもたちの為のクリスマスイベントを実施
- 2020 年 2 月 TSUTAYA WAY 串本店内に知育コーナーとして役立てるべくキッズスペースを用意
- 2020 年 2 月 トルコ国営放送「TRT」の日本語特派員就任。毎週火曜日担当。
- 2020 年 3 月 日本トルコの文化交流として竹あかり実行委員会とトルコのコラボイベントを実施
- ※2020 年 4～9 月の事業は新型コロナ対策として緊急で行った協会の枠を超えた町づくり企画です
- 2020 年 4 月 白浜町飲食店チームでクラウドファンディングに挑戦（830 万円）
- 2020 年 5 月 白浜町でドライブスルー弁当を実施（参加 12 店舗・6000 個超販売 /3 週間）
- 2020 年 7 月 チーム戦で販売する新名物「南紀白浜名店の旅」を販売開始
- 2020 年 9 月 白浜町デジタル化事業クラウドファンディング挑戦 280 万円（830 万円）
- 2020 年 11 月 トルコ震災義援金募金開始
- 2021 年 3 月 日土アンパティ国際サッカーフェスティバルクラウドファンディング開始
- 2021 年 6 月 トルコビジネスツアーを企画、輸入支援やトルコの紹介、現地企業と商談会を予定
- 2021 年 9 月 9 月 1 2 日に串本町で日土アンパティ国際サッカーフェスティバルを企画中



和歌山トルコ文化協会（株）K C R

◆お問い合わせ先

MAIL : info@w-turkey.org

ADDRESS : 串本町串本タイヨウのカフェ

和歌山トルコ文化協会 活動詳細の抜粋ご紹介①

2018年3月

白浜町「トルコ雑貨とハンバーグ 絢カフェ」に本部設立



株式会社KCR 代表取締役 本田景士が理事長に就任と共に、弊社が経営する南紀白浜三段壁にあるトルコ雑貨&カフェレストランに本部を移転。

白浜町はトルコ友好の町串本町から車で一時間の和歌山県を代表する観光地です。

協会設立よりこちらを拠点に、和歌山県を訪れる観光客の方にトルコ文化を発信して参りました。

2018年4月

エルトゥールル号の絵本を制作・出版・寄贈すべくクラウドファンディングを実施（154万円 168人）



理事長・本田の妻で絵本作家の山口小百合（旧姓）によるエルトゥールル号遭難事件を題材にした絵本。当時の事件を史実にのっとりながらも、一人の少年目線で描いております。

救助活動と共に成長していく少年に共感できるシナリオで図書館等でも貸し出し人気本となっている。このクラウドファンディングの支援者の8割以上は和歌山県内の方々からとなりました。

2018年7月

移動絵本展を県内書店で開催、多数のメディアからの応援を受ける。



串本町の書店からスタートし、約3ヶ月をかけて和歌山県内中の書店を巡った絵本展。

この絵本展では絵本の紹介はもちろん、トルコと日本の関係性を分かりやすく説明し、県内でも未だこの事件を知らない方に向けて発信を行いました。

回収したアンケートからも「知らなかった」が意外に多く、実りある展示会となりました。

2018年11月

絵本をトルコのチョルル市長、ロータリークラブ、商工会、児童施設、学校等に寄贈



イスタンブールから車で約2時間の場所にあるチョルル市とご縁があり、チョルル市役所にて市長を表敬訪問、チョルル商工会頭や現地ロータリークラブの方々とも交流、その後イズミルに行き、日本イズミル文化友好協会でも日本文化のお披露目や絵本寄贈式等も行われました。

この後イズミルの協会が火災被害にあった事を知り、当協会から義援金を送りました。

和歌山トルコ文化協会 活動詳細の抜粋ご紹介②

2019年1月

絵本「タイヨウのくにとツキのふね」を県内ほぼ全ての小学校・幼稚園、全国の107図書館に寄贈



絵本を串本町教育委員会 潮崎教育長にて寄贈の報告を行い、和歌山県庁にて仁坂知事にも寄贈の旨を報告。330校の小学校・幼稚園、また全国107館の児童書(児童書コーナーのある施設含む)図書館に寄贈。和歌山市立 雑賀小学校では寄贈された絵本を用いて授業も行われました。

2019年3月

串本町「タイヨウのカフェ」に本部移転

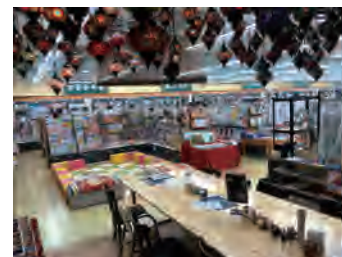


串本町駅前にあるWAY書店串本店の一角をトルコ文化を伝えるブックカフェとしてオープン。書店の本を持ち込んで読む事ができる事に加え、串本町ならではのトルコ文化を伝えていく拠点として地元の方にも愛されている店舗となっております。

最も人気のメニューは串本名物「ケバブライス」、トルコ文化に皆様親しんで頂いております。

2019年5月

毎月第二日曜の15時から絵本の読み聞かせやキッズイベントを開始



地元の方にトルコ文化を伝える事と、本に親しみを持って頂くために書店と共同で絵本イベントを毎月開催。この日は地元のファミリーが沢山お越し頂きます。

クリスマスにはパーティーも行います。

※コロナ渦中はおやすみ中

2019年5月

県内をメインに「ドネルケバブ」の出張イベント販売も創業当初から行っております



トルコといえば「ケバブ」、県内をメインにドネルケバブの出張販売も！名物「ケバブサンド」は漬けダレに梅酢を使ったり、日本人向けにアレンジしたオリジナルメニュー。ピタパンも地元パン屋さんと共同開発した特注品。冷凍真空パックでネット販売も行っております。

↑↑↑↑↑
販売サイトはコチラ

和歌山トルコ文化協会 活動詳細のご紹介③～コロナ対策事業～

2020年4月

白浜町飲食店チームでクラウドファンディングに挑戦 829万円（701名）



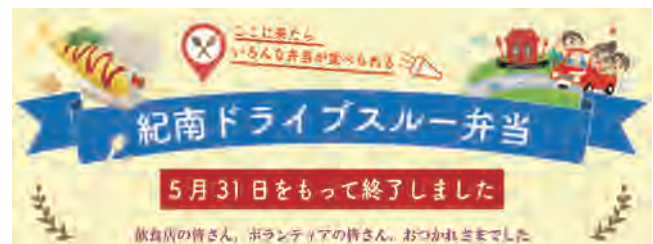
現在販売中



当協会理事長・本田が発起人となり、休業が相次ぐ飲食店舗の打開策として緊急実施。各店舗の名物メニューを冷凍真空パックにしてギフトセットを創るという取り組みで、参加店舗は10店舗になり、各メディアに取り上げられ物凄い反響を呼びました。この取組が発端となり、白浜町有志の会が立ち上がりました。

2020年5月

白浜町でドライブスルー弁当を実施（参加12店舗・6000個超販売/3週間）



当協会理事長・本田が発起人となり休業が続く白浜町の飲食店がテイクアウトで立ち向かうも、観光客300万人を支えていた店舗数では焼け石に水、それならば！と、感染対策にもなるし外食をしたい方の需要も満たせるドライブスルー形式でお弁当販売を行いました。売上金の一部から白浜町にマスクの寄贈も行いました。

2020年9月

白浜町デジタル化事業クラウドファンディング挑戦 296万円（164名）



当協会理事長・本田が発起人となり、まだまだ続く新型コロナウイルスの影響を打開すべく、新しい観光のかたちを創るプロジェクトを立ち上げました。コロナ渦における緊急対策事業の共通点は「チーム戦」、今回は「皆で創るデジタルマップ」をテーマに296万円の支援を集める事ができました。

↑↑↑↑
ココまでの取り組みを読売TV様に取り上げて頂きました。

2021年9月（予定）

日土アンパティ国際サッカーフェスティバルを開催



トルコと日本の友好をスポーツで繋ぐイベントを2021年9月12日に企画。この日はパラリンピック閉会式の翌週日曜日でエルトゥール号遭難事件の9月16日の間の日曜日。同年3月よりクラウドファンディングも準備中です。